

本年度の重点『新しい学校教育を推進し、子どもの「いつも（日常）」を支え、広げる』

学校だより

小倉総合通信



こくらそうごう

1月号（令和7年1月10日）

小倉総合特別支援学校

校長 前田 孝二

新年あけましておめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。後期後半の授業が1月8日(水)から始まり、子どもたちの元気な声と笑顔が溢れて、活気が戻っています。

一年間のまとめの期間であり、卒業や進級に向けて取り組む大切な時期となります。令和6年度の締めくくりに向かって、1日1日を大事に過ごしていきたいと思います。



心のケアについて

12月14日に、小倉南区で死傷事件が起こりました。まずは、死傷事件において、被害にあわれたお二人の生徒とご家族の皆様、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

今回の事件発生後、登下校においては、できるかぎり保護者に同伴、見守りをお願いいたしました。保護者の皆様、ご協力いただきありがとうございました。被疑者逮捕により一定の区切りはつきましたが、まだ不安に感じている子もいると思います。また、専門家の方によると、「ひと月くらいたったころに突然不安になる子もいる」ということですので、今後も引き続き、子どもたちの「心のケア」に努めてまいります。何か不安な点がございましたら、すぐに学校にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

学校間交流について

小学部は合馬小学校と学校間交流を行いました。1、2年生は5月30日と11月29日にオンライン交流を実施。5年生は5月30日、6年生は6月3日、4年生は11月29日に合馬小学校に行き、直接交流を実施しました。高等部は12月17日に、小倉南高等学校と本校体育館にて直接交流を行いました。様々な遊び・競技を一緒に行い、合馬小学校、小倉南高等学校のお友達と楽しい時間を過ごすことができました。どの交流も子どもたちの笑顔が溢れる素敵な交流となりました。今後も「交流及び共同学習」の機会の充実を図り、障害のある子どもと障害のない子どもが互いを理解し合うことや、地域の方々との相互理解・障害者理解を促進してまいります。※下の写真は、小学部4年生と高等部の学校間交流の写真です。

